

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

アオモリマンテマ

Silene aomorensis

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 総管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. アオモリマンテマ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Silene aomorensis*Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

アオモリマンテマ

Silene aomorensis

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

基準 D

推定開花株数が 1000 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

高さ 10-25 cm。茎は叢生し、根出葉は倒披針形でほとんど柄がなく、長さ 8 cm、幅 12 mm。茎葉は披針形～倒披針形で、長さ 2-8 cm、幅 4-13 mm。花期は 6 月で、頂生の集散花序で 2-5 花をつける。花弁は白色で 2 中裂、長さ 7-12 mm。萼は棍棒状長橢円形または鐘形で膨らみ、10 脈あり、長さ 12-15 mm。蒴果は卵形で、長さ 9-12 mm、熟すと 5 裂する。

【生活史】

多年草。

【生育環境】

山地の岩壁に生育する。

【分布域】

青森県、秋田県に分布。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 1 メッシュで数十個体の現存が推定されたが、個体数を過小に推定していると考えられる。基準 D により VU とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	1	0	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1番目	2番目	3番目
要因		

件数		
----	--	--

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第4次 2019:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第4次 2018:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第4次 2017:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第4次 2015:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第4次:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第3次:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第2次:	アオモリマンテマ	<i>Silene aomorensis</i>	VU
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

青森県[重要希少野生生物(B ランク)] 秋田県[絶滅危惧種 I B 類(EN)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2017. 改訂新版日本の野生植物 4. 348pp., 256pls. 平凡社，東京。

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Silene aomorensis has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Silene aomorensis* is listed as VU under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 1,000 mature individuals.

Threat types:	No Data
Law designation status for conservation	—

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月: 2025年3月